



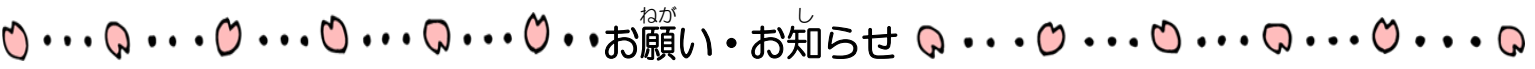
ぐみ ひばい組だより



寒さの中にも、少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになったこの頃。いよいよ、今年度も残りわずかとなりましたね。この一年で、大きく成長したひばり組のお友達。たくましく成長した姿に嬉しく思います！「次は、自分たちがつばめ組さんになるんだ！」と進級に向け期待を膨らませています♪子どもたちと一緒に一日一日を大切に、思いっきり楽しみたいと思います！

今月の保育目標

- ・進級することへの期待感を持ち、身の回りのことを主体的に行う。
- ・思ったことや感じたことを自分なりの言葉で表現し、相手に伝える嬉しさを感じる。



〇着替えについて

暖かい日も少しずつ増え、戸外遊びの際には汗をかきながら遊ぶ姿が増えてきました。ひばり組の子どもたちは、その日の気温で衣類の調節ができるようになってきたので、着替え袋には薄手の長袖・半そで両方のご準備をよろしくお願ひします！

〇生活について

園での生活ではほとんど、自分のことは自分で出来るようになってきたひばり組の子どもたち。しかし、「早く遊びたい！」や「ちょっと面倒だからなあ…」という気持ちから、脱いだ服をぐちゃぐちゃのままリュックに入れてしまったり、リュックのチャックを開けたままにしまい、お箸セットやコップ袋を失くしてしまう姿が見られます。また、登降園の際には自分のリュックを背負わず保護者の方に持ってもらう姿も多く見られます。年長に向け、園では自分のものは自分で整理整頓や管理ができるよう促しています。お迎えの際にもロッカーの中の確認等をお子さまと一緒に行っていただき、整理整頓ができるよう声を掛けていただけたらと思います。

手指の発達を促す遊びとは？

手や指の動きは脳と密接に関わっており、指先は第二の脳と言われています。また、脳の神経細胞は0歳から3歳ごろまでに急速に成長し、ペンを持つ・洋服のボタンを留める等、指先の発達が必要な動作は、日常生活を送るうえでも重要になります。そんな、指先の発達を促すには、どんな遊びが効果的なのでしょうか？いくつかご紹介させていただきます！一つ目は粘土遊びです。粘土遊びでは、手のひらで丸める・掴む・伸ばす・つまむ等の動作を行います。二つ目はシール貼りです。シールを剥がし、台紙のねらった場所に貼るという一連の動作は難しく感じる子もいますが、繰り返すことで思い通りに動かせるようになります。また、ねらった場所にシールが貼れるようになると達成感を味わえるため、自己肯定感を育みます。手指の発達を促すだけでなく、自分でできる日常動作が増えると子どもたちは自分から進んで行動するようになりますよね。ぜひお家のお時間がある時に取り入れてみてくださいね♪

